

# シグマ Letter

Vol.4  
2019.12

## ～シグマの災害時対策～



佐賀県は8月末の豪雨により各地で大きな被害が発生しました。全国的にも毎年災害による被害が増加している傾向です。弊社では、《省エネ》《創エネ》《防災》の目的で10kwの太陽光発電と5kwhの蓄電池の設置し、自然エネルギーを有効活用することで買う電気を減らしています。また、災害等で停電した場合には、太陽光で発電した電気を蓄電池に蓄えながら電気を使用できる環境を整えております。これにより停電時でも太陽光で発電した電気を蓄電池へ蓄えながら電気を使用できるので、日中は蓄電システムの



容量5kwh以上の電気を供給することが可能となり社内の照明やエアコン、パソコンの電源、携帯電話の充電を行う事ができます。さらに、1人×3日分を54人分の非常食も備えています。この非常時対策の導入により、災害停電時にでもオフィスとしての機能を維持し、近隣の避難所として使用することも可能です。



## 創業者・現相談役紹介

いつもお世話さまになります。わたしは堤和之と申します。1935年生まれ84歳です。終戦後、中国長春市(旧新京)から両親と合わせて7人。過酷な引き揚げ列車と引き揚げ船で、ふるさとの佐賀市へ帰りました。いまは弟妹とわたしの3人だけです。

県立佐賀工業高校電気科定時制に学び、第三種電気主任技術者(電験三種)の国家資格を取得しました。九電工に10年勤務。工事経験を生かし株式会社シグマ(旧社名有限会社シグマ電工)を創業しました。資本金45万円、創業は1967年、社員は妻とわたしの二人。創業53年目です。

資本金3000万円、社員数30名、店舗数4店舗の規模になりました。

社名シグマはギリシャ文字でΣです。ゼロから無限大に向かって、技術も会社も伸びよという希望を込めています。日本の未来は世界有数の国家になります。日本を先端電気設備技術で支える会社、シグマはその一員です。地方にあってシグマにしかできない電気技術者集団を目指します。常に社員の技術、管理、教養の向上を目指します。社員の生活のさらなる向上を目指します。

厚い鉄板を穿つ(うがっ)情熱と挑戦を常に目指します。お客さまが、これが電気工事だと、いう喜びを目指します。

経営理念《夢こえて感動》はその願いです。よろしく願い申し上げます。ありがとうございました。



## 技術顧問紹介

福島稔です。今年の10月で73歳になりました。昭和57年、36歳の時に職業安定所の紹介により入社しました。

入社後は現場、営業と色々な職務を経験させてもらい今は顧問としてお世話になっております。現役中は様々な問題が起こりましたが、その都度社員が一丸となって協力していただき、問題を乗り越えることができました。非常に感謝しています。

私は、幸福とは ①ひとに愛されること ②ひとに好かれること ③ひとの役に立つこと ④ひとに必要とされること だと思っています。

そして、仕事を通じてこれらを手に入れる事が人生ではないかと思っています。

この信念のもとに今まで生きてきました。

この歳になって振り返ってみると決して間違いではなかったなと実感しています。今の私は若い社員が失敗をし、それを乗り越えて成長していく姿を見るのが楽しみです。もう一つは若い社員とお腹いっぱい肉を食べることです。

皆さんも肉をいっぱい食べ、頑張って仕事をしましょう。そして家族を巻き込んで人生を楽しみましょう。

